

2010年7月22日

タイPTT社と共同でタイにおける生分解性樹脂普及プログラム支援実施

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社（本社：東京都港区、社長：小林 喜光、以下「三菱化学」）は、この度タイ王国政府科学技術省国立イノベーション機構（National Innovation Agency、以下「NIA」）が進めているバイオポリマー普及プロジェクトの一環として、生分解性樹脂普及プログラムにPTT Public Company Limited 社（本社：タイ王国バンコク市、総裁：Prasert Bunsumpun、以下「PTT」、詳細は別紙の通り）及びサメット海洋国立公園（Samet Marine National Park）と提携し、共同で実施いたします。

タイ王国では、次世代技術としてバイオ技術の振興が進めてられており、既にバイオ燃料、バイオポリマー等を普及すべく様々なプロジェクトが立ち上がっております。当プログラムもこのプロジェクトの一環として行われ、現在生活ゴミによる環境問題が深刻化している同国サメットソンクラム県（サメット島）において、三菱化学の生分解性樹脂「GSPla」を使用したゴミ袋を使用し、飲食業、家庭の有機廃棄物を効率的に収集するとともに、堆肥製造設備を設置し収集した有機廃棄物を堆肥に変えることで、ゴミの量を減らしかつ有効活用しようとするものです。

今回のプログラム参画により三菱化学は、タイ王国におけるバイオ技術の振興に貢献できるとともにGSPlaの普及拡大につなげてまいります。

【問合せ先】

三菱化学株式会社 広報室

TEL：03-6414-3730